誌上展示会

第14回

レンタルサーバートレンドウォッチ

2006年のレンタルサーバー選び

このコーナーは、注目の製品やサービスについて、それを支える技術や市場動向の解説（セミナー）と具体的なサービスを紹介（展示）する、バーチャル展示会。今回のテーマは「レンタルサーバー」。最近、ネットの環境変化に伴ってレンタルサーバーに求められる機能も変化してきている。その点に注目しよう。

text: 狐塚 淳

インターネットの技術進歩ととりまく環境の変化

ほんの1年～2年前には、個人や小さな企業がレンタルサーバー上でブロードバンドコンテンツを配信するのは珍しいことだった。だが、光回線が急激な普及を見せ、パソコンでの映像情報の視聴経験が増加するにつれて、ネット上での熾烈なビジネス競争に打ち勝つために、小規模な企業でも、ブロードバンドコンテンツの配信によって、他との差別化を行いたいなどのニーズも生まれてきた。そうした場合、アクセスしてくる顧客の快適な視聴を可能にするには、帯域確保などの回線サービスが要求されるようになる。

帯域保証については、携帯コンテンツビジネスの伸張もニーズを生み出している。携帯コンテンツの場合、10Mbps、100Mbpsといった大きな帯域保証ではなく、1Mbpsをベストエフォートでない形で提供されることが必要だったりする。

このように、インターネット環境の変化は、レンタルサーバーサービスに、従来のサービスからの変化を求めてくる。

競争が激化するセキュリティー対策

影響するのはネット環境ばかりではない。昨年の個人情報保護法の施行以来、レンタルサーバーに求められるセキュリティーも高度なものに変わってきている。以前は、ウイルスチェックが標準か、ファイアーウォールのサービスはあるかどうかくらいのポイントが注目されていたのが、昨年夏以降は一種のセキュリティー対策競争の様相を呈してきている。

商用OSベースの安全な運用を基盤として提供する事業者もあれば、IDS（不正侵入検知）と定期的な脆弱性検査をセットにしたサービス、さらにはIPS（不正侵入防御）を標準搭載したパックサービスなども登場してきている。

セキュリティー対策がこれだけ注目されだしているというのは、ネット上の脅威の高まりとともに、個人情報保護法の影響で、企業などのセキュリティーポリシー策定が進展し、ネットワーク環境やサーバー環境に対しても、ポリシー対応のセキュリティー強度が求められるようになってきたといえるだろう。

同時に、エンドユーザーのセキュリティー意識も変化してきている。個人情報流出の報道が多く流されることもあっ

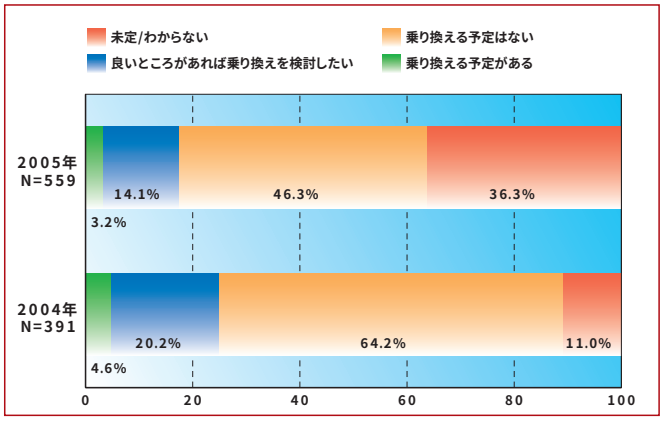


図1　データセンターやレンタルサーバーの一年以内の乗り換え予定（2004年-2005年）　出典：『インターネット白書2005』資料3-3-6（©Access Media/Impress,2005）

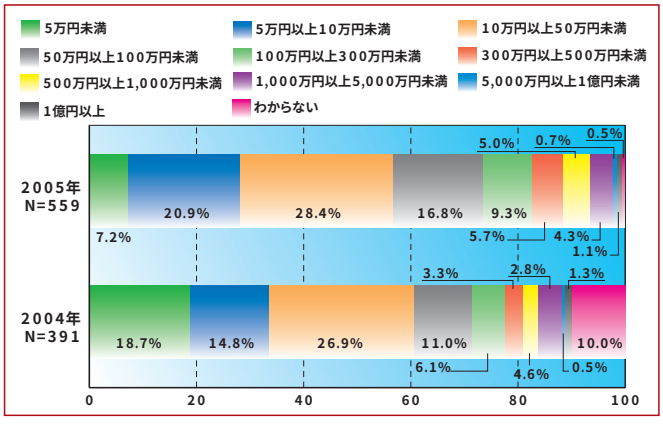


図2　データセンターやレンタルサーバーの年間利用コスト（2004年-2005年）　出典：『インターネット白書2005』資料3-3-8（©Access Media/Impress,2005）

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

て、ウェブサービスを利用する場合にも、わかりやすい安全証明、少なくともセキュリティー対策に力を入れているという宣言を求めるようになってきている。

こうしたニーズの中で、フィッシング詐欺などの登場も影響して、安全な通信を確認するためにSSL証明書にも関心が集まっている。共有SSL証明書の提供、専用SSL証明書の取得代行といったサービスを手がける事業者も増加している。

新規レンタルニーズと乗り換えニーズ

こうした提供サービスの変化の背景にあるのは、ユーザーのニーズの変化だ。事業者サイドでは、激しく移り変わるニーズの変化を予測し、それに対応したサービスを投入して、他社サービスからの乗り換えを含む新規顧客を獲得するとともに、従来の顧客の乖離防止を図っている。

サーバーアウトソーシングの認知も高くなり、今後レンタルサーバー初体験のユーザーが無尽蔵に増加していくとは考えにくい。となると、従来のレンタルサーバー事業者に不満を感じて乗り換えてくるケースの獲得が重要になる。『インターネット白書2005』によれば、「乗り換える予定はない」ユーザーが全体の半分近くを占めているが、「未定／わからない」と答えるユーザーは増加している（図1）。乗り換えニーズは顕在化していないが、潜在している段階だといえるだろう。特に、ユーザーのコスト抑制意識は強いため、料金面からの見直しが図られる可能性は高く（図2）、その際レンタルサーバー事業者サイドでサービスメニュー面での充実が図られていないと、既存ユーザーの流出を許すことになる。

コスト面以外でサービス選択の再検討がなされる場合には、インターネットや社会環境の変化以外にも、当然ユーザーサイドのビジネス環境の変化が考えられる。

たとえば、共用レンタルサーバーで開始したオンラインショップが軌道に乗ってビジネスを拡張していったユーザーの場合、共用サーバーの限界を不自由に思うケースが出てくる可能性がある。かといって、専用サーバーに移行するのは、コスト的にも技術的にも不安がある。こうしたニーズに向けて出てきたのが、VPS（仮想専用サーバー）サービスだ。このように既存サービスの隙間を埋め、あらゆるユーザーのニーズに応えるためのサービスラインナップをそろえるという方法が1つにはあるだろう。

そのほかにも、ビジネス拡張時には、さまざまなニーズが現れてくる。それまでのビジネスとは違ったジャンルに展開しようと思えば、ドメイン名の取得も新しく行わなくてはならないし、その際、従来利用していたドメイン名とどう差別化してどう関連付けていくかで、取得したいドメイン名の種類も違ってくるだろう。現在、レンタルサーバー事業者でドメイン名取得代行を行っている業者も多いが、希望するドメイン名取得が可能かどうかで、ドメイン名取得専用業者に頼んだり、レンタルサーバー事業者を変更したりなどという選択肢も出てくるだろう。

また、サーバー移行時の操作の簡単さや、ダウンタイムを作らないなどの利便性を考えたサービスを提供してくれる事業者もある。

レンタルサーバー事業者の新しいサービスに注目

こうしてレンタルサーバー事業者には、すべてに対応する総合的な要求がなされるわけだが、実際には千差万別のあらゆるユーザーニーズに応えることは難しく、そこに事業者間の方向性の差異が生じてくる。ユーザーはこの違いに注目して、レンタルサーバーサービスを選択していく必要がある。それが一番の特徴として表れるのは、新しいサービスメニューだ。

既存の顧客のニーズ変化に注目し、新規ユーザーを獲得するために投入される、レンタルサーバー事業者の新しいサービスが強力である場合は、新メニューは新プランという形を取るケースが多い。それ以前のサービスメニュー体系を組み替えて、より多くのユーザーにアピールしていきたいと考えるためだ。

レンタルサーバー事業者の新しいサービスをチェックする際には、サービスプランの組み換えをチェックすることから始めてみるのがいいだろう。

出展企業一覧

AT-LINK専用サーバ・サービス
AT-LINK専用サーバ・サービス →p.98

パワープラットフォームホスティングサービス
NTTコミュニケーションズ →p.100

レンサバ本舗.com
GMOインターネット →p.102

お名前.com
GMOインターネット →p.104

Domain Keeper
ハイパーボックス →p.105

セミナーを終えたら
展示会場で
商品をチェック

Exhibition Hall

インターネットマガジン／株式会社インプスR&D
©1994-2007 Impress R&D

長年の経験に裏付けられた信頼性の高いホスティングサービス

AT-LINK専用サーバ・サービス

AT-LINK専用サーバ・サービス

[URL] http://www.at-link.ad.jp/

多くのレンタルサーバーサービスの中で、ユーザーの支持を集めるサービスにはそれぞれ理由がある。AT-LINK専用サーバー・サービス（以下、at+link）は、長年の経験と実績に裏付けられた信頼できるサービス品質とコストバランス、そしてサポートの充実度といった総合力の高さでユーザーから高い評価を得ている。

セキュリティーの基盤となるRHEL-ES v.4の無償提供

最近のレンタルサーバー選びにおいて、セキュリティーの問題は避けて通れない。at+linkのセキュリティー対策へのアプローチは、まずOSが基盤になっている。

at+linkは、商用Linuxディストリビューションのなかでも人気の高いRed Hat Enterprise Linux（以下、RHEL-ES）が、年間利用料（約10万円程度）の負担なしで利用できる。ビジネスに利用するサーバーOSにはセキュリティーとパフォーマンスが要求されるが、RHEL-ESの最新バージョンであるv.4は、この2つの要素を高い次元で両立させている。at+linkでは、このOS提供を基盤に据え、さまざまなセキュリティーオプションを提供している。

サーバー監視は24時間365日態勢の有人監視が基本サービスに含まれており、オプションでアプリケーションやプロセスの稼動状況まで監視可能な「ServerWatch」も利用できる。キャンペーンマシンには、復旧時間を短縮する「オートリブーター」が標準装備されており、再起動実施時のメール通知オプションを提供している。

ウイルスチェッカーおよびファイアウォールは共用・専用の2種類より選択可能なほか、統合セキュリティーアプライアンス「VSR」により、侵入検知なども含めたトータルなセキュリティー機能を実現することも可能だ。そのほか、Tripwireを使用した「ファイル改竄通知」などのサービスもある。

また、at+linkでは2005年6月に、情報セキュリティーマネージメントシステムの第三者認証資格であるISMSとBS7799-2を同時に取得している。このように、サービス全体でセキュリティーに積極的に取り組む姿勢をアピールしていることも、ユーザーとしては信頼できる。

なお、at+linkでは、現在提供中の稼動監視サービス「ServerWatch」に加え、セキュリティー監視サービスの「SecurityWatch」の提供を開始する予定だ。

同サービスはセキュリティーデータベースNessus（ネサス）を使用して、ユーザーのサーバーに日に数回、脆弱性チェックを行い、脆弱性を発見した場合はメールで通知する。「ServerWatch」との併用で、サーバーの安全な運用・管理にかかる手間が大幅に軽減される。

PCメーカーとの協業だからこそできる自在性と拡張性が魅力

at+linkで稼動しているサーバーは約6,100台(2006年2月現在)。このなかには、毎時数百万のページビューを誇るポータルサイトや月商が億単位にもなるECサイト、携帯電話向けの公式コンテンツを運営しているサーバーも多数含まれており、これらのサイトマスターはもとより、多くのユーザーから絶大な支持を受けているが、その理由はいったい何だろうか。答えは「自在性・拡張性に富むサービス」と「充実したサポート態勢」にある。

同サービスのWebサイトを見ると、さまざまなタイプのマシンが利用可能なことがわかる。IBMやNorthern Lights、DELLといったメーカー製のマシンや、専用レン

■キャンペーンマシンの料金

名称	CPU	メモリー	HDD	初期費用	月間利用料 *1 *2
リフレッシュ！	Celeron（1.1GHz）	512MB	IDE 120GB	36,750円	●東京NOC利用の場合 30,450円(23,100円) ●富山NOC利用の場合 19,950円(14,700円) ●帯域保証回線サービス 23,100円(17,850円)
Celeron Mパッケージ	Celeron M 360（1.4GHz：L2 2MB）	512MB	SATA 80GB	68,250円	
Pentium Mパッケージ	Pentium M 735（1.7GHz：L2 2MB）	512MB	SATA 80GB	84,000円	
ターボパッケージ／1GBモデル	Celeron D 336（2.8GHz）	1GB	SATA 160GB	94,500円	
ターボパッケージ／2GBモデル	Celeron D 336（2.8GHz）	2GB	SATA 160GB	126,000円	

■SATAトリプルパッケージ（RAID1＋バックアップディスク）の料金

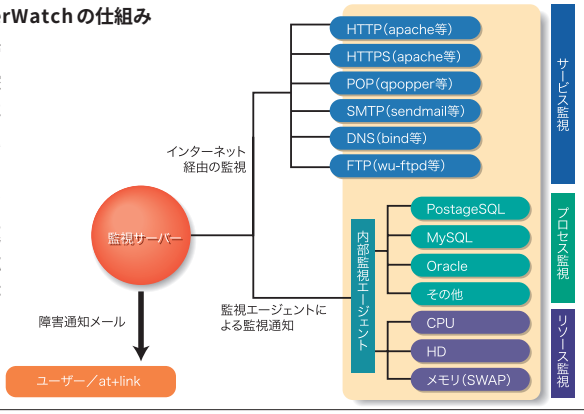
名称	CPU	メモリー	HDD	初期費用	月間利用料 *1 *2
モンスターPD830パッケージ 1GBモデル	Pentium D 830（3GHz:L2 1MB x 2） XDbit対応	1GB	250GB SATA x 3 (RAID 1 + Backup)	309,750円	●東京NOC利用の場合 40,950円(31,500円) ●富山NOC利用の場合 25,200円(19,950円) ●帯域保証回線サービス 33,600円(26,250円)
モンスターPD830パッケージ 2GBモデル	Pentium D 830（3GHz:L2 1MB x 2） XDbit対応	2GB	250GB SATA x 3 (RAID 1＋Backup)	330,750円	

※いずれのマシンもハードディスクやメモリーの交換が可能。
*1 月間利用料の括弧内は代理店または2台目以降の料金　*2 帯域保証回線サービスは、別途初期費用36,750円、月間利用料31,500円/1Mbps～が必要

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

■サーバー監視サービス ServerWatch の仕組み

24時間365日、サーバー管理者に代わってサーバーの稼働状況を監視・報告し、必要に応じ障害対応を行う心強いサービス。検知された障害を通知する「障害通知 サービス」か、24時間365日迅速に障害対応を行う「一次対応付き サービス」のいずれかが選択可能。



at+linkをエーティーワークスと共同で運営しているリンクでは、厳選された逸品だけを集めたショッピングモール「e-select（イーセレクト）」も運営している。
http://www.e-select.st/

タルサーバーでは珍しいアップルコンピュータのXserveを利用することができるほか、その気になればユーザーが必要なサーバーマシンや機器を持ち込み、その構成で運用を依頼することもできる。

だが、なんといっても充実したラインナップを誇るat+linkのオリジナルマシンが大きく目立つ。それは、同サービスが富山の中堅PCメーカー「エーティーワークス」と、東京の広告制作会社「リンク」による共同事業だからこそできることといえるだろう。「中抜きローコスト構造」という言葉が表しているように、一切の中間マージンをなくすことで性能のよいマシンを低価格で提供することができるのだ。もちろん、より大容量のHDDへの交換やメモリーの増設、RAID構成やx世代バックアップを実現するためのHDD追加がすべてのモデルで可能なほか、ユーザーの望む構成がラインナップになければ、そのユーザーのニーズに合わせた特注マシンを構築することもできる。

専用レンタルサーバーでビジネスを展開する場合、最初は1台のサーバーで充分でも、事業の拡張に伴いより処理能力の高いマシンへの乗り換えを検討しなければならなくなる。また、アクセス数の多いサイトの場合、サーバーのスペックアップだけでは間に合わず、より多くのアクセスを受け入れることのできる接続サービスへの移転も選択肢に入ることだろう。

at+linkなら、その両方のニーズに応えることが可能だ。サーバーマシンについては、より処理能力の高いマシンへの乗り換えはもとより、クラスタリング構成やローカル接続といった高度な運用形態をとることもできる。また、接続サービスについても、急激なトラフィック増へも柔軟に対応可能な帯域保証回線サービスや、高速なトラフィックが低コストで利用できる100Mbps接続サービスへの移転という選択肢も用意されている。このように、ビジネスが大きくなった場合にも同じサービス内で利用を続けられることが、多くのユーザーからの支持を集める理由のひとつといえる。

あらゆる障害対応が無償!
それも大きな魅力

もうひとつの特徴である「充実したサポート態勢」についても触れる必要があるだろう。レンタルサーバー事業者のなかには、マニュアルを充実させ、ユーザーにメンテナンスを委ねることで利用料を低く抑えるケースもあるが、at+linkでは80名以上のサポート要員を擁しており、人手をかけて迅速かつ柔軟に対応するアプローチをとっている。

まず、同サービスのオリジナルマシンを利用している場合、万一ハードウェアに何らかの障害が発生しても、メーカー製のマシンを利用する場合と較べて格段に速い対応をとることができる。これは、保守に必要な部品が常時ストックされているから、そしてマシンを構築するスタッフが自ら修理可能な態勢が整っているからだ。また、理由を問わずすべて無償で対応しており、他のレンタルサーバー事業者にはなかなか真似のできない点といえる。

また、先述したマシンの乗り換えや回線を移転を行う場合にも、古いマシンから新しいマシンへのデータ移行やDNS設定の変更等、必要なサポートを受けることができるほか、他のレンタルサーバー事業者から移転する場合に不可避なドメインの移転サポートもat+linkが引き受けてくれる。

一瞬たりともサーバーを停止できないユーザーにとって、これは大きな福音になることだろう。

ただ、ユーザーが実際に利用しないことには、このようなサポートの良さを実感することができない。そこで、at+linkではその良さを体験可能な無料ホスティングサービスとして「eBusiness インキュベータ」を提供している。このプログラムは、「Eビジネスによる起業を考えているが新ビジネスのため収益のめどが立っていない」というような時でもサーバー利用が可能なように、初期導入費用と6カ月間の月間利用料を無料にし、導入障壁を低くしたもので、期間終了後の継続利用に関する拘束もない。既存法人の新規事業や、社内ベンチャーなどでも申し込み可能なため、このサービスを利用して、at+linkの高品質なサポートを体験してみてはいかがだろうか。

問い合わせ先
AT-LINK 専用サーバ・サービス
03-5785-0555
（営業日 9:30～23:00／休業日 0:00～24:00）
pr-info@at-link.ad.jp

©1994-2007 Impress R&D

いちはやくIPS（不正侵入防御）機能を標準装備

パワープラットフォームホスティングサービス

NTTコミュニケーションズ

[URL] http://www.powerplatform.jp/

もはやセキュリティー抜きにレンタルサーバーサービスを語ることはできない。NTTコミュニケーションズが提供するパワープラットフォームホスティングサービスは、いちはやい段階からIPS（不正侵入防御）を標準搭載しながら低価格を実現した「セキュリティパックEntry」を投入し、ユーザーの支持を集めている。

不正侵入検知だけでない不正侵入防御のセキュリティー

2005年4月の個人情報保護法の施行以降、企業や官公庁のセキュリティー意識は飛躍的に高まっている。「当初、FAXのシュレッダー処理等に始まる内部での情報安全対策に取り組んでいた組織の意識が、外向きのセキュリティーに注目しはじめたのは、夏くらいからだった」と、NTTコミュニケーションズITマネジメントサービス事業部PowerPlatform PT 担当部長の福岡弘高氏は振り返る。ちょうどその8月に、パワープラットフォーム「セキュリティパックEntry」が投入されている。

「セキュリティパックEntry」の最大の特長は、IDS（不正侵入検知）にとどまらない、IPS（不正侵入防御）をいちはやく標準搭載したパッケージでありながら、月額99,750円（特別キャンペーン価格）からという低料金を実現したことにある。

セキュリティー対策に優れた各種のパッケージから用途に最適なサービスを選ぶことができる

IDSを提供するレンタルサーバーサービスは増加傾向にあったが、IPSの標準搭載提供は前例がなかった。

従来のIDSでは、進入検知後の防御対策は利用者の自己責任となっており、自動的にリアルタイムで不正侵入に対抗するにはIPSの導入が必要だ。しかし、IPS用の機器購入、設計には初期投資で1,000万円近くがかかり、また運用管理には高度なITスキルが必要とされた。

NTTコミュニケーションズは「グローバルIPソリューションカンパニー」として、ホスティングをコアのひとつとしたサービスを提供しているが、セキュリティーをそのなかの重要な部分と位置づけ、マーケット要請を受けて、同社の専用型レンタルサーバー「パワープラットフォームホスティングサービス」に、不正アクセス防御機能IPSを業界で初めて標準搭載した「セキュリティパック」と、共有型ファイアーウォールの利用でさらに低価格を実現した「エントリーパック」をスタートさせた。

「セキュリティパックEntry」は、インターネットセキュリティシステムズ社のIPS付統合アプライアンス「Proventia M10」を専用ファイアーウォールとして採用。専用サーバーに、100Mbpsインターネット接続（帯域確保）、24時間365日の監視・サポート、SLA（サービス品質保証）をパッケージ化し、しかも月額10万円を切る料金からの使用を実現している。また、サーバー2台構成で公開ゾーンのWebサーバーと、プロテクトゾーンのDBサーバーのセグメントを切り分けてセキュリティーを構築する「セキュリティパック2」（特別キャンペーン価格：128,625円～）も提供している。一方「エントリーパック」は、共用ファイアーウォールの利用により、月額55,965円からのサービス利用が可能となっている。

「セキュリティパック」の豊富な機能

「セキュリティパック」の主な機能には、トラフィック制御とアクセス制御を担う「ファイアーウォール機能」、PAM（プロトコル分析モジュール）が自動解析により未知のアタックやワームの伝播活動を検知、接続遮断などで防御する「IPS機能」、新しいセキュリティーホールが発見されると仮想的なセキュリティーパッチ適用状態を作り出してサーバーを防衛する「バーチャルパッチ」などがあるほか、VPNゲートウェイ間接続と、リモートクライアント双方からの接続を可能としており、IPsec、IKE方式の認証、3DESやAESなど主要暗号プロトコルをサポートした「VPN機能」も備えて安全な通信を可能としている。

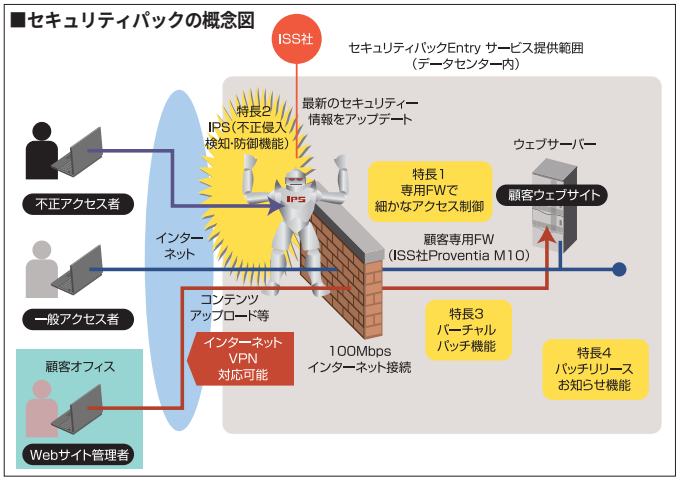
■料金表

タイプ	メニュー	月額料金
個別選択型	モジュラー	46,620円～
パッケージ型	エントリーパック	55,965円～
	セキュリティパック	99,750円～
短期利用型		82,845円～

※価格はすべて税込

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

■セキュリティパックの概念図



セキュリティパックの特長

- IPS(不正侵入検知・防御)
- 専用ファイアーウォールで細かなアクセス制御
- セグメント切り分け
- アンチウイルス
- VPNでセキュアーな通信
- パッチリリースお知らせ機能

ITマネジメントサービス事業部 PowerPlatform PT 担当部長 福岡弘高氏
「社内のサーバーをネットワーク上の脅威から切り離しセキュリティーを確保するには、サーバーのアウトソーシングが効果的です」

ITマネジメントサービス事業部 PowerPlatform PT 山口吾郎氏
「インターネットをビジネスの主要なチャネルとする企業や、セキュリティーが必須な官公庁での導入が急速に拡大しています」

また、オプション機能として、アンチウイルスやアンチスパムを追加し、さらに総合的なセキュリティー対策を構築することも可能である。

業種や規模では測れないセキュリティーニーズ

高度なセキュリティー機能はマーケット要請に合致している。昨年後半の発売以来、受注率が大幅にアップし、すでにパワープラットフォームの新規契約の7割が「セキュリティパック」になっているという。同社には、自社から直接顧客に販売する直販チャネルと販売パートナー経由で提供するパートナーチャネルという2つの販売チャネルがあるが、どちらのチャネルでも「セキュリティパック」の引き合いが活発だ。問い合わせをしてくる企業や団体は、業態的にはネットを使ってビジネスを行っている会社が多い。中でも、ネットを販売チャネルやサービス提供の主体とする「ネットジェネレーションカンパニー」と呼ばれる企業からの問い合わせが特に多く、ネットワークセキュリティーの問題が切実である企業・団体ほど、関心が高いことがうかがわれる。一方で銀行や官公庁など、情報に対して高度なセキュリティーが必要とされる業種でも導入が急速に拡大している。

「セキュリティパック」を導入するユーザーの特徴としては、決定が早いことが挙げられるという。官公庁のなかには、説明をして23時間後に申し込み、というスピード契約にいたった例もある。これは、セキュリティー対策が放置できない問題であるためと同時に、選択を悩ませるような同種のサービスが存在しないためでもある。

「セキュリティパック」で安心のサーバー運用

セキュリティー対策はいたちごっこの側面があると福岡氏は語る。新しいセキュリティー対策を施しても、それを破る脅威が必ず登場し、再度対策を迫られるという繰り返しだ。こうした継続的な負担を社内リソースで背負い続けることは、企業の本業を圧迫する。社内のサーバーをそうした脅威から切り離し、セキュリティーを確保するには、サーバーアウトソーシングが効果的だ。パワープラットフォームの「セキュリティパック」なら、自社のコアコンピタンスに集中的にヒューマンリソースを投入しながら、安全確実なサーバー運用が可能となる。

また、パワープラットフォームには540種以上の豊富なオプションがあり、ユーザーのニーズにあったサービスのビルドアップが可能だ。同社では、大企業や官公庁向けの上位モデル、SLA100%の高可容性オンデマンド型ホスティング「AGILIT」も提供しており、同事業部の山口吾郎氏は「『セキュリティパック』の人気を、『AGILIT』にもつなげる形で、サービスをメニュー化していきたい」と話す。一足先に、1レベル上のセキュリティー対策を実現したければ、パワープラットフォームの導入を真剣に検討すべきだろう。

■導入事例●イーバンク銀行株式会社

イーバンク銀行

ネット決済サービスを手がけるイーバンク銀行(株)は、付加価値戦略として法人顧客の商品を中心に紹介するショッピングモール「イーバンクセレクト」を企画した。しかし、銀行基幹業務を支える社内のサーバーではCGI系コンテンツを扱うことが禁じられているため、ホスティングサービスの採用を模索したが、多くの事業者ではウイルス対策以上のセキュリティーが用意されておらず、十分なセキュリティーの確保は難しかった。同社の厳しいセキュリティーポリシーを満たしたのが、パワープラットフォームのIPSを提供している「セキュリティパック2」であった。豊富なオプションサービスによる柔軟なサービス構成とともに、ビジネスブログとの組み合わせで、コンテンツの管理工数の削減にも成功した。

事例詳細：http://www.powerplatform.jp/case/case08.html

問い合わせ先
NTTコミュニケーションズ株式会社
03-6800-8019
(9:00～18:00 土日・祝日は休業)
powerplatform@ntt.com

共用・VPS・専用の豊富な選択肢。電話サポートも充実のサービス

レンサバ本舗.com

GMOインターネット　レンサバ本舗.com

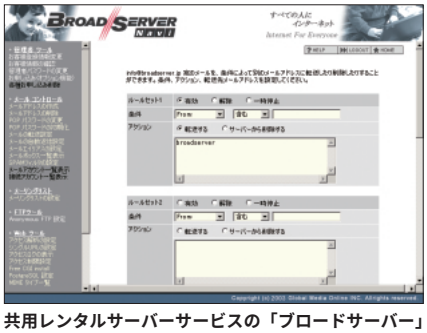
[URL] http://www.rensaba.com/

自分の求めるサービスの条件をなかなか満たせず、多くのレンタルサーバー事業者のサイトを回る経験をお持ちの方も多いだろう。レンサバ本舗.comのレンタルサーバーサービスは、共用・VPS・専用と豊富なプランを取り揃え、電話相談で導入コンサルティングにも対応するほか、共用サーバーでは24時間無料電話サポートを行うなど、安心して利用できる。

導入コンサルティングや SEO対策にも電話で対応

ウェブでレンタルサーバー各社のサービスを比較検討しようとした場合、記述の違い等でどれがいいのかわからなくなってしまうことも少なくない。

レンサバ本舗.comのレンタルサーバーサービスは、導入コンサルティングや集客アドバイスなどについても新規問合せ専用フリーダイヤルを設け、電話で相談できるためサービス選択に当たってのさまざまな疑問点の解決や、自分がどんな構成やサービスを必要としているのかというニーズの明確化にたいへん有用な情報が得られる。



共用レンタルサーバーサービスの「ブロードサーバー」では、各種の設定をブラウザー上の管理画面「BROAD SERVER Navi」で簡単に行える

ネットワークの知識に不安のあるユーザーには、入門的な内容から個別の導入相談、集客のためのSEO、SEM対策まで、レンタルサーバーに関するあらゆる質問に専属の担当者が答えてくれる。単なるサービスプランの紹介にとどまらず、要望によってはサーバーの複数台構成などにも対応してくれるため、レンタルサーバー初心者でなくとも、現状からの乗り換えを考えての相談も可能だ。

導入時以外もサポート体制が充実しており、同社の共用サーバーサービスである「ブロードサーバー」では、24時間無料電話サポートが実施されている。さらに、通常ノンサポートやメールサポートオンリーのケースが多い、準専用サーバー(VPS)と専用サーバーについても、平日10時～19時の電話サポートを開設しており、技術的な質問に答えてくれるほか、サーバートラブルには24時間365日対応可能だ。さらに、各種ソフトインストールや設定変更なども有料で代行してくれる。

それ以外にも、カード払いのみが主流となっている料金の支払いを標準で請求書対応してくれるなどビジネスニーズにも留意してくれている。

コストパフォーマンスに優れた 共用サーバー

レンサバ本舗.comのレンタルサーバーサービスは、共用、VPS、専用の3タイプをユーザーニーズに合わせて選択できる。

共用サーバーである「ブロードサーバー」の特徴は、前述した24時間無料電話サポートや、初めてレンタルサーバーを導入する際に必要なドメイン取得費が無料であること、そしてASP型データベースサービスの「セキュアDB」が利用できることなどが挙げられる。また、豊富なメール機能を備えており、通常のメール転送に加え携帯メール転送も可能なほか、メーリングリストの作成や、メールエイリアス、自動応答なども可能になっている。ウェブとメールをあわせた基本ディスク容量100MBにメールアカウント数5個の「イージープラン」なら、月額基本料金3,024円（税込・カード払い）からの利用が可能で、非常にコストパフォーマンスにすぐれたサービスといえるだろう。

そのほかに、PHPやPerlなどの使用も可能でWebメールやFTPにも対応、ウィル

■共用サーバー 基本プラン

パック	月額料金	初期費用
イージープラン(カード決済)	3,024円	3,150円
イージープラン	3,759円	3,150円
レギュラープラン(カード決済)	5,439円	10,500円
レギュラープラン	6,279円	10,500円
スーパープラン(カード決済)	14,175円	31,500円
スーパープラン	15,540円	31,500円

※価格はすべて税込

■準専用サーバー（VPS）基本プラン

パック	月額料金	初期費用
VP100プラン	9,975円	57,750円
VP200プラン	18,900円	
VP300プラン	27,300円	
VP400プラン	39,900円	
VPJ100プラン	13,125円	
VPJ200プラン	22,050円	
VPJ300プラン	30,450円	
VPJ400プラン	45,150円	

※価格はすべて税込

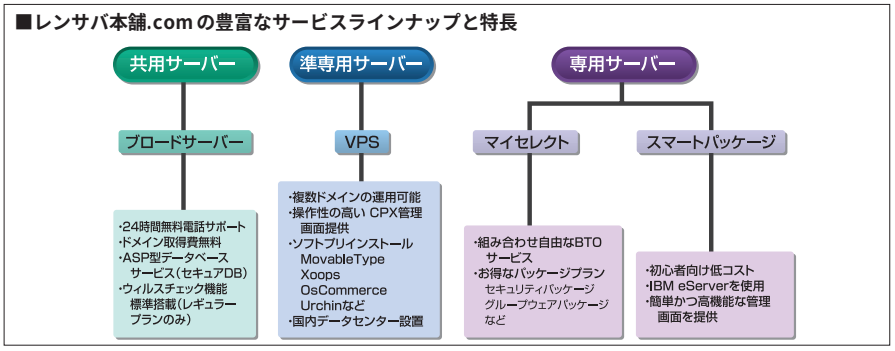
■専用サーバー 基本プラン

パック		月額料金	初期費用
スマートeS		47,250円	52,500円
スマートeSRAID		57,750円	52,500円
データプロテクト	シングル	186,900円	99,750円
	デュアルプロ	237,300円	199,500円
Pentium4 / 80GB		24,675円	84,000円
Pentium4 / 80GB×2(RAID)		34,650円	84,000円
Xeon / 73GB×2(RAID SCSI)		64,575円	105,000円

※価格はすべて税込

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

■レンサバ本舗.comの豊富なサービスラインナップと特長



スチェック機能を標準搭載したビジネス入門向けの「レギュラープラン」（容量200MB、メールアカウント50個）なら月額基本料は5,439円から。容量500MB、メールアカウント100個でTelnetにも対応した「スーパープラン」も用意されている。

複数ドメイン管理も可能な準専用（VPS）サーバー

準専用サーバー（VPS）は、共用サーバーのように1台のサーバーに複数のユーザーが同居しながら、root権限の利用が可能など、専用サーバー並みの使い勝手を手ごろな料金で提供するものだ。

特徴としてまず挙げられるのが、複数ドメインの一括運用が可能な点だ。従来、レンタルサーバーで複数サイトを運営しようとすると、サイトごとに別々にサーバー契約と運用を行わなくてはならなかったが、準専用サーバー（VPS）では1台のサーバーでの一括管理を実現し、運用コストと人的負荷を大幅に削減できる。

また、ウェブからログインし、メールアドレスの追加やサブホストの追加、メールソフトの設定、ウェブメール設定など多様な操作が可能なCPXコントロールパネル（管理画面）が提供されている。

専用サーバー並みにroot権限が利用可能なためアプリケーションのインストールなどは自由だが、そのほかにサイト構築に役立つ豊富なソフトが最初から提供されている。一例を挙げると、話題のブログを構築できるMovableTypeや、利用者が爆発的に増加しているソーシャルネットワークサービスを構築できるXoops、オンラインショップを簡単に構築できるosCommerce、ログ解析用のUrchinなど、ネットビジネスを行う際に必要とされるさまざまなアプリケーションがプリインストールされ、すべて無料で利用できる。

準専用サーバー（VPS）はセキュリティーにも配慮がされており、3重のデータバックアップ体制がとられているほか、設置も国内データセンターが選択できるので安心だ。

使用するサーバーのスペックはXeon2.4GHz×2（Dual）、メモリは2GB、OSはFreeBSD4.7。プランは、国内データセンター利用のVPJコースと国外データセンター利用のVPコースで異なり、ディスク容量との組み合わせで、たとえばVPJ100（容量2.0GB）プランなら月額利用料13,125円となっている。

経験や知識に応じて選べる2つの専用サーバーサービス

専用サーバーとしては「マイセレクト」と「スマートパッケージ」の2つのサービスが選択可能だ。「マイセレクト」は、申し込み時にOS、HD容量、メモリ容量、オプションサービスなどを自由に選択できるBTOサービスで、最も安価な組み合わせなら月額24,675円からの利用が可能だ。セキュリティー対策に必要な専用型ファイアーウォールやウイルスチェックなどの機能を標準搭載した「セキュリティパッケージ」（月額利用料79,800円）や、サイボウズOffice6ライセンス版を標準搭載した「グループウェアパッケージ」（月額利用料26,565円）などの、お得なパッケージプランも用意されている。一方、「スマートパッケージ」は、IBM eServerを使用し、簡単かつ高機能の管理画面を提供する、使いやすさと低価格にこだわった専用サーバー初心者向けのパッケージだ。

スケジュール、掲示板などビジネスに必要な機能を備えたグループウェア「サイボウズ Office 6」が、全プランでオプションにより導入できる

■準専用サーバー 用アプリケーション

名称 特徴	
MovableType	強力なカスタマイズ機能を備えたウェブログ・システム
Xoops	コミュニティーサイトを簡単に構築できるアプリケーション
osCommerce	オンラインショップを簡単に構築できるアプリケーション
phpMyAdmin	データベースを管理するためのアプリケーション
Urchin	サイト訪問者の動向が一覧できるアクセス解析アプリケーション
PHP	定評あるポピュラーなスクリプト言語
MySQL	高速性と堅牢性を追求したマルチユーザ・マルチスレッドのデータベース

準専用サーバー（VPS）では、多彩なアプリケーションがあらかじめインストールされ、面倒な設定なくすぐに無料で利用できる

準専用サーバー（VPS）では、複数サイトの運営に適したコントロールパネル（CPX）が標準装備されている。国内版の提供はレンサバ本舗.comが国内初となる

レンタルサーバーの選択に迷っているなら、まずは同社ホームページのトップから、「目的から選ぶレンタルサーバー」というコンテンツを試してみよう。自分のニーズに適したサーバーを、豊富なメニューのなかから発見することができるだろう。

問い合わせ先
GMOインターネット株式会社 レンサバ本舗.com
0120-63-6833
（10:00～19:00 土日祝日を除く）
info@rensaba.com

多種多様なドメイン登録が可能なICANN公認レジストラ

お名前.com

GMOインターネット お名前.com

[URL] http://www.onamae.com/

ネットショップをはじめとするウェブビジネスを始めるとき、独自ドメインの登録は不可欠だ。ドメインの登録と管理を行うサービスは各社が提供しているが、長く付き合っていくものだけに、実績とサポートのしっかりしたところで登録したい。そんなときにお勧めなのが「お名前.com」のドメイン登録サービスだ。

50万件以上のドメイン登録実績を持つICANN公認レジストラ

ネットショップ運営を始める前に独自ドメインを登録したいと考える人は多いだろう。ドメイン名は、そのドメイン領域のデータベースを管理する「レジストリ」という機関に登録され、レジストリが認定する指定事業者（レジストラ）だけがユーザーからの登録申請を受け付けることができる。「お名前.com」は、ドメインやIPアドレスなどを管理する非営利組織ICANNにより、1999年4月21日にアジア圏と日本では初の商用ドメイン名レジストラに選出され、サービス開始以来、ドメイン登録実績が50万件を超えるという老舗だ。ICANNが認定する正規レジストラは全世界で百数社、日本では数社しかない。「お名前.com」は「.jp」ドメインの登録数に関して世界一で、こうした経験と実績に基づいたサービスが多くのユーザーから信頼されている。

「お名前.com プレミアサーバー Linux プラン」は、Eコマースの用途にも適したサービスだ

「お名前.com」なら多彩なドメインの登録が可能

「お名前.com」で取り扱っているドメインは20種類以上を数える。一般的な認知も高い「.com」「.net」「.org」に始まり、日本の新しいスタンダードとして定着している「.jp」、1社1ドメインの制限はあるが法人からの人気が高い「co.jp」などのメジャーなドメイン以外にも、これから人気の出そうな「.bz」（ビジネスをアピールするのに最適）や「.vc」（ベンチャー企業やインターネットビジネスの情報発信系）など非常に豊富で、ユーザーニーズに対応する新ドメインの提供に常に取り組んでいる。

手続きは簡単でサービスとサポートは充実

ドメインの登録手続きはもちろん、登録後の契約更新や、ネームサーバー等の登録情報変更手続きも専用の管理ツールを利用してオンラインで手軽に行える。複数ドメインの一括管理も可能なため、担当者の負荷を大幅に軽減できる。決済方法はカード決済以外に振込にも対応しているため、企業で利用する場合にも便利だ。

また、「お名前.com」では、登録ドメインを有効利用できるよう、各種サービスを提供している。そのひとつがレンタルサーバーサービスで、Linuxベースの「お名前.com プレミアサーバー Linux プラン」と、Windowsベースの「お名前.com プレミアサーバー Windows プラン」を、それぞれ月額2,604円（税込）から利用可能だ。

登録した独自ドメインのネットショップを、作成当日からオープンできる「MakeShop」というオプションサービスもある。このサービスはブラウザー上で設定・構築が簡単に行えるだけでなく、商品管理、会費管理、受注管理、メール送受信、決済など、ショップ運営のあらゆる機能が用意されており、売り上げ手数料が不要なため、月額の利用料金だけで余分なコストをかけずに運営できる。

また、「お名前.com ダイナミックDNSサービス」は、インターネット接続・切断時に変動するIPアドレスと登録ドメインの対応関係を動的に結びつけるシステムで、常時接続環境さえあれば、固定IPアドレスがなくても、自宅や会社のパソコンをサーバーとしてインターネット上に公開できる。サポートも充実しており、メールと電話に加え、チャットでの問合せにも対応している。また、つい忘れがちな更新時期には、メールや封書で知らせてくれるのも運営者にとってありがたいサービスだ。

■主なドメイン登録・更新価格

ドメイン		1年	2年	3年	5年	10年
ローマ字　.com/.net/.org		3,990円	7,497円	10,479円	16,380円	29,925円
日本語　.com/.net		3,990円	6,090円	8,988円	14,700円	28,035円
.biz/.info		3,444円	6,720円	9,450円	14,595円	26,250円
.tv/.vc		6,615円	13,125円	18,375円	30,240円	56,490円
ローマ字　.jp	登録	8,337円	14,679円	20,979円	32,529円	—
	更新	7,224円	13,524円	19,824円	25,704円	—

※価格はすべて税込

問い合わせ先

GMOインターネット株式会社 お名前.com

03-3770-9199

（10:00～19:00 土日祝日を除く）

support@onamae.com

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

誰でも簡単に安心して使える共用型レンタルサーバー

Domain Keeper

ハイパーボックス

[URL] http://www.domain-keeper.net/

ネットショップをはじめとして、個人が簡単にオンラインビジネスに取り組める時代がやってきた。誰もが取り組めるからこそ、知識や経験がなくとも安心してサーバー運営を行うためのサービスが求められている。ハイパーボックスのDomain Keeperは、そんなニーズに応える共用型レンタルサーバーサービスだ。

24時間365日の電話サポート体制

ネットビジネスに取り組むにあたって、一番怖いのが、どんなトラブルが起きるかわからないという点だろう。たとえばネットショップなら24時間アクセス・注文ができることは当たり前と思われているが、これはいつどんなトラブルがあるかわからないということでもある。そんなとき頼りになるのが電話サポートの存在だ。同様のトラブルを数多く経験して、その対応にも実績を持ったサポート担当者と、いつでも話せれば非常に心強い。

ハイパーボックスの共用レンタルサーバーサービスDomain Keeperは、業界内でもいち早く24時間365日体制のヘルプデスクを開設し、急を要するトラブルへの対応ニーズに応えてきた。その経験はすでに3年以上に渡り、その対応実績が現在のユーザーの安心運用を支えている。

Domain Keeperでは、人気のブログをはじめ、多彩なCGIを簡単にインストールできる「CGIインストーラー」を提供している。さらに、運用をサポートする「ファイルマネージャー」も標準で提供しており、ネットの知識やITスキルが十分でなくても、効果的なサーバー運用が可能な形をサポートしている。「CGIインストーラー」では、決済代行業者と提携可能なショッピングカートCGIも利用可能である。

新規参入やサービス乗換えにも対応した豊富なサービスプラン

それでも、最初に何がどのくらい必要なのか、ディスク容量やアドレス数などどのくらい用意すればいいのか、どんな機能があればいいのか分からないというユーザーもいるだろう。Domain Keeperなら、ユーザーの利用目的に沿ったプランが豊富にラインナップされている。専用SSL証明書とのセットでオンラインショップの構築管理が行える「カートマネージャープラン」なら安全なネットショップを簡単に始められるほか、ウェブ制作者などに便利な複数ドメインアカウントの利用が可能な「SOHOプラン」や、最近注目のセキュリティーに対応した「アンチウイルス」プランもあるので、自分のニーズにあった機能の選択に迷わないで済む。一部プランではオプションとなるが、128bit SSLサーバー証明書も低料金・短時間（24時間以内の発行が可能）で提供されている。

最近ではレンタルサーバー事業者の変更ニーズも少なくないが、その場合ホームページの移転作業が発生する。Domain Keeperは、そうした移転ニーズにも配慮し、ネームサーバーの変更をサポートしてくれるほか、移転用のアカウントを提供してくれるため、サーバー切り替え時のダウンタイムなしにビジネスの継続が可能だ。ブラウザーからの操作でコンテンツの引越しができる「ホームページ引越しツール」も提供している。

また現在、共用サーバープランにおいて「容量倍増/SSLアップグレードキャンペーン」も実施されている。

■料金表

プラン名	スタンダード	アンチウイルス	ビジネス	SOHO	カートマネージャー
初期費用	5,250円	8,400円	10,500円	15,750円	15,750円
月額費用	2,100円	3,150円	10,500円	6,300円	6,825円
ディスク容量	100MB	100＋50MB	1500MB	300MB	300MB
ユーザーアカウント	50個	50＋5個	200個	150個	50個
メールアドレス	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
使用可能ツールなど	CGI／SSI／SSH／PHP／telnet				
メールセキュリティー	APOP／IMAP4／POP before SMTP				
メーリングリスト	Majordomo簡易版／5メーリングリスト（1リストあたり100メールアドレスまで）				
ウイルスチェック	オプション	○	○	オプション	○
ショップ管理	—	—	—	—	○
専用SSL	オプション	オプション	○	オプション	○
データベース	オプション	オプション	○	オプション	オプション
バックアップ	オプション	オプション	○（RAID1）	オプション	オプション

※価格はすべて税込

カートマネージャープランのショップ機能で作成したホームページのサンプル

問い合わせ先

株式会社ハイパーボックス

03-5537-6080

（24時間受付）

support@domain-keeper.net

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレス R&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.